

目次

| | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | わたしたちの暮らし① | 4 |
| 1 | くらしの安全を守る | |
| 2 | わたしたちのくらしと水・電気・ガス | |
| 2 | わたしたちの暮らし② | 10 |
| 1 | わたしたちのくらしとごみ | |
| 2 | 人々のくらしの変化, 伝統文化 | |
| 3 | 地図の見方 ー方位・地図記号ー | 16 |
| 1 | 方位 | |
| 2 | 地図記号 | |
| 4 | 地図の見方 ー等高線・縮尺ー | 22 |
| 1 | 土地の高さとかたむき | |
| 2 | 縮尺 | |
| 5 | 地図の見方 ー地図の活用ー | 28 |
| 1 | 地図をながめてわかること | |
| 2 | さまざまな地図 | |
| 6 | 都道府県の名前と位置 | 34 |
| 1 | 都道府県 | |
| 2 | 地方区分 | |
| 7 | 都道府県の形と都道府県庁所在地 | 40 |
| 1 | 都道府県の形 | |
| 2 | 都道府県庁所在地 | |
| 8 | 日本の位置 | 46 |
| 1 | 日本のはんい | |
| 2 | 日本の領域 | |

| | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|
| 9 | 各地のくらしー日本の気候の特色ー | 52 |
| | 1 日本の気候の特色 | |
| | 2 各地の気候 | |
| 10 | 各地のくらしー気候とくらしー | 58 |
| | 1 あたたかい地域のくらし | |
| | 2 寒い地域のくらし, 自然災害 | |
| 11 | 各地のくらしー日本の地形の特色ー | 64 |
| | 1 山地・山脈 | |
| | 2 川と平地, 海 | |
| 12 | 各地のくらしー地形とくらしー | 70 |
| | 1 低地・海辺のくらし | |
| | 2 高地・盆地・台地のくらし | |
| 13 | 北海道・東北地方のようす | 76 |
| | 1 北海道地方のようす | |
| | 2 東北地方のようす | |
| 14 | 中部・関東・近畿地方のようす | 82 |
| | 1 中部地方のようす | |
| | 2 関東地方のようす | |
| | 3 近畿地方のようす | |
| 15 | 中国・四国・九州地方のようす | 88 |
| | 1 中国・四国地方のようす | |
| | 2 九州地方のようす | |
| ● | グラフからどんなことがわかるかな？ | 94 |

1 暮らしの安全を守る

火事や交通事故がおきたときに、わたしたちはどうすればよいでしょうか。このようなときに役立つのが 119 番と、110 番の電話番号です。これらの電話番号に電話をかけると、どのような人たちが現場にかけつけてくれるか学習していきましょう。

● 火事から守る

・ 火事がおきたら

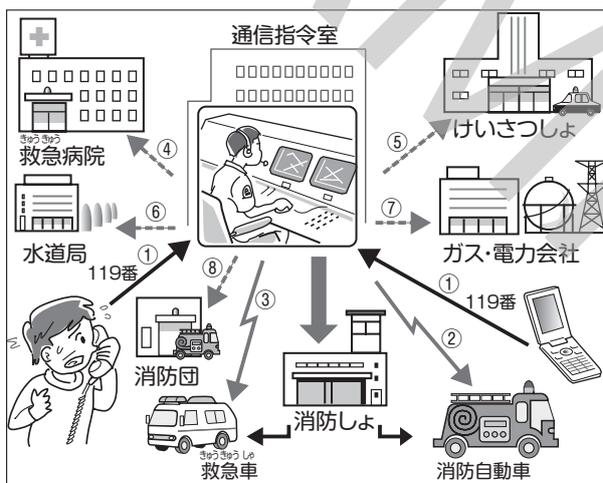
火事がおきたらまず 119 番に電話をかけます。この番号に電話をかけると、消防本部の通信指令室につながります。通信指令室は、すぐに消防しょや消防団に火事がおこっている場所と大きさを伝えます。また、けいさつしょや水道局、ガス・電力会社、病院などにも連絡します。

119 番の電話番号は、急病人が出て急いで病院へ運びたいときにも使います。

・ 消防団の仕事

いつもは自分の仕事をしていますが、火事がおきるとすぐに現場にかけつけて、消防隊員とともに消火活動などを行います。

119 番のしくみ (火事がおきたとき)



- ① 「〇〇町 1 丁目の山田さんの家が燃えています。」
- ② 「〇〇町 1 丁目の山田さんの家から出火しました。すぐ出動してください。」
- ③ 「けが人がいます。すぐ出動してください。」
- ④ 「けが人を運びますので、準備をお願いします。」
- ⑤ 「火事の現場近くで交通じゅうたいがおこっているのので、交通整理をお願いします。」
- ⑥ 「水の量を調節してください。」
- ⑦ 「危ないので、火災現場近くの電気とガスを止めてください。」
- ⑧ 「〇〇町 1 丁目の山田さんの家から出火しました。すぐ出動してください。」

● 交通事故から守る

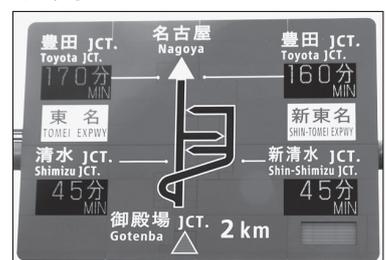
・ 交通事故がおきたら

交通事故がおきたらまず 110 番に電話をかけます。この番号に電話をかけると、けいさつ本部の通信指令室につながります。通信指令室は、事故がおこった場所に最も近いパトカーや交番などに事故がおこった場所や大きさを伝えます。また、交通管制センターにも知らせます。

この電話番号は、ものがぬすまれるなど事件がおきたときにも使います。

・ 交通管制センター

交通管制センターでは、どこで交通じゅうたいがおきているかなどの情報を集め、電光けいじ板やラジオなどを通してその情報を発信しています。交通事故が発生した場合、交通管制センターは、事故がおこった場所を知らせたり、混雑している道をさけて走るようよびかけたりします。



電光けいじ板

2 わたしたちの暮らしと水・電気・ガス

わたしたちが暮らしの中で利用している水・電気・ガスはどのようにつくり、送られているのでしょうか。

●水がとどくまで

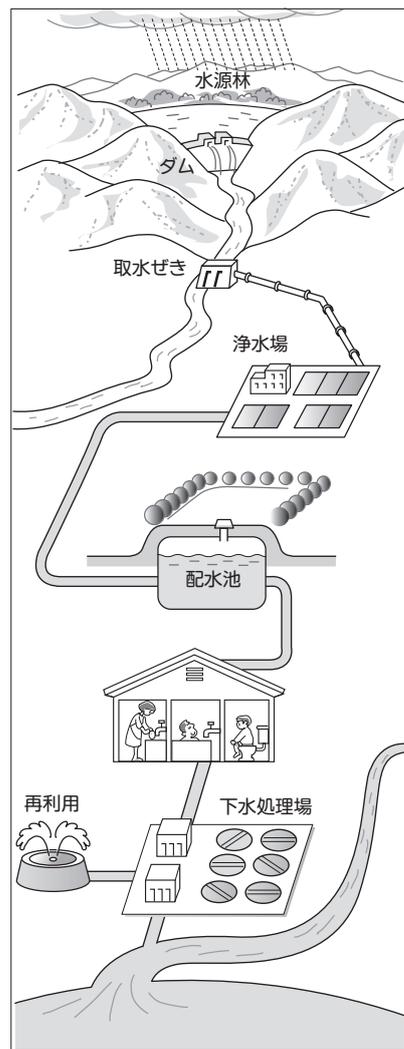
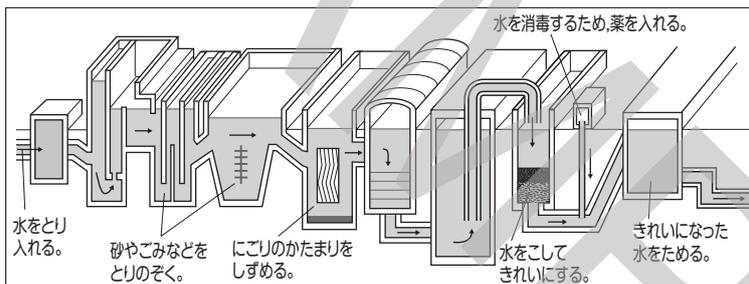
水が流れ出てくるところを**水源**（すいげん）といいます。山にある水源から流れ出た川は、いったん**ダム**でせきとめられます。その後、ダムでせきとめられていた水は下流へと流され、**取水ぜき**（じゆすいじよ）にとりこまれてから**浄水場**（じよすいじよ）に送られます。浄水場できれいにされた水は**配水池**（はいすい）から各家庭に送られます。

・ 緑のダム

森林は、降った雨をたくわえ、少しずつ水を川に流しているため、**緑のダム**とよばれています。また、春になると雪がとけ出します。そのため、山に降る雪も大切な水源となります。

・ 浄水場のしくみ

川などからとりこまれた水はそのままでは飲むことができません。浄水場では水にふくまれている砂やごみをとりのぞき、薬を使って**消毒**（しょうどく）をしています。



水のゆくえ

●使われたあとの水

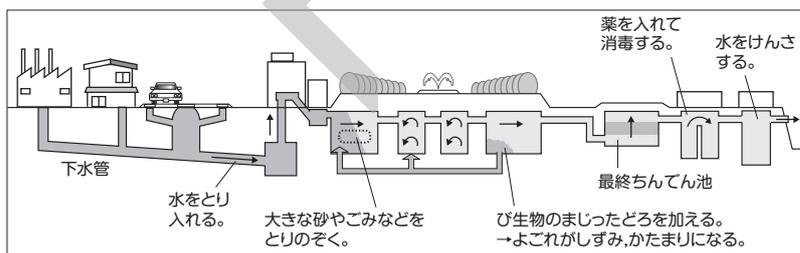
家庭などから出るよごれた水や工場のはい水のことを**下水**（げすい）といいます。下水は下水管に集められ、**下水処理場**（げすいじりじよ）に送られます。

・ 下水処理場のしくみ

下水処理場では、下水のよごれをとりのぞき、薬で消毒してから、水を川や海に流しています。

・ 下水の再利用

下水は、下水処理場できれいにされたあと、冷ぼうやトイレの水、公園のふん水などに再利用されることがあります。



●水を大切に使う工夫

わたしたちは、おふろの残り湯をせんとくに使う、食器をあらうときにこまめに水を止めるなどの節水の取り組みを通して水を大切に使うことができます。

家庭での水の使い方（東京都）

| | | | | |
|-----------|------------|------------|-------------|----|
| ふろ 40% | トイレ 21% | すいじ 18% | せんたく 15% | 6% |
| 洗顔・その他 | | | | |

（東京都水道局資料より）

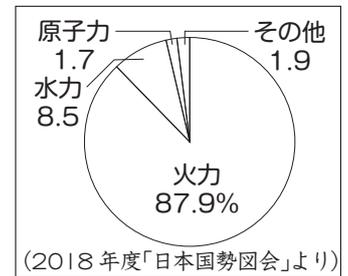
● 暮らしを支える電気

・ 電気がとどくまで

各地の発電所で電気がつくられています。発電所でつくられた電気は送電線で変電所に送られて、家庭や工場などで使えるようにされてからとどけられます。

・ おもな発電方法

| | |
|-------|--|
| 火力発電 | <ul style="list-style-type: none"> ・天然ガスや石油、石炭を燃やして発電します。 ・地球温暖化の原因とされる二酸化炭素が発生します。 |
| 水力発電 | <ul style="list-style-type: none"> ・ダムから水が流れる力を利用して発電します。 ・燃料を使わず、二酸化炭素やはいき物を出しません。 ・ダムをつくるときに、環境に影響をあたえます。 |
| 原子力発電 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウラン燃料を利用して発電します。 ・少ない燃料で発電でき、二酸化炭素を出しませんが、燃料のあつかいははいき物の処理がむずかしく、安全のための備えが必要です。 |



日本の発電量のうちわけ

・ これからの電気の利用

太陽光や風などの再生可能エネルギーを利用した発電もすすめられています。地下の熱からうまれる水蒸気を利用する地熱発電、太陽光をパネルにとりこんで発電する太陽光発電、風力で風車を回して発電する風力発電、ごみなどを燃やすときに出る熱を利用するバイオマス発電が行われています。

● 暮らしを支えるガス

・ ガスがとどくまで

日本は、天然ガスを輸入にたよっています。海外で海中深くや海底からとり出された天然ガスは、現地の工場で液体にされます。液体の天然ガスはタンカーとよばれる船で運ばれ、大きなタンクにたくわえられます。その後、気体にされたガスは、ガスもれに備えてにおいがつけられ、こわれにくいガス管で家庭などにとどけられます。

・ ガスの安全な利用のために

家庭などに設けられているガスメーターには、使用量をはかるだけでなく、ガスもれも感知するしくみがあります。ガス会社で働く人はガスメーターやガス管の点検を行っています。

確認問題

- (1) () は、雨水をたくわえて、水を少しずつ流す働きがあることから、「緑のダム」とよばれることがあります。() にあてはまることばを答えなさい。 []
- (2) 次のア～ウは、水が、わたしたちの家にとどくまでに通る施設をあげたものです。これらの施設を、水がわたしたちの家にとどくまでに通る順番に左から並べかえなさい。
ア 浄水場 イ ダム ウ 配水池 [→ →]
- (3) 使われたあとの水はきれいにされたのちに、どのようなものに再利用されますか。次から1つ選び、記号で答えなさい。 []
ア プールの水 イ 食器をあらう水 ウ 飲み水 エ 公園のふん水
- (4) 現在、日本で最も発電量が多い、天然ガスや石炭を燃やして発電する発電方法を何とよみますか。 []
- (5) 海外でとれた天然ガスは、液体にされたあと、どのようにして日本に運ばれていますか。最もふさわしい説明を次から1つ選び、記号で答えなさい。 []
ア 船で運ばれます。 イ 飛行機で運ばれます。 ウ 海底のガス管を通して運ばれます。

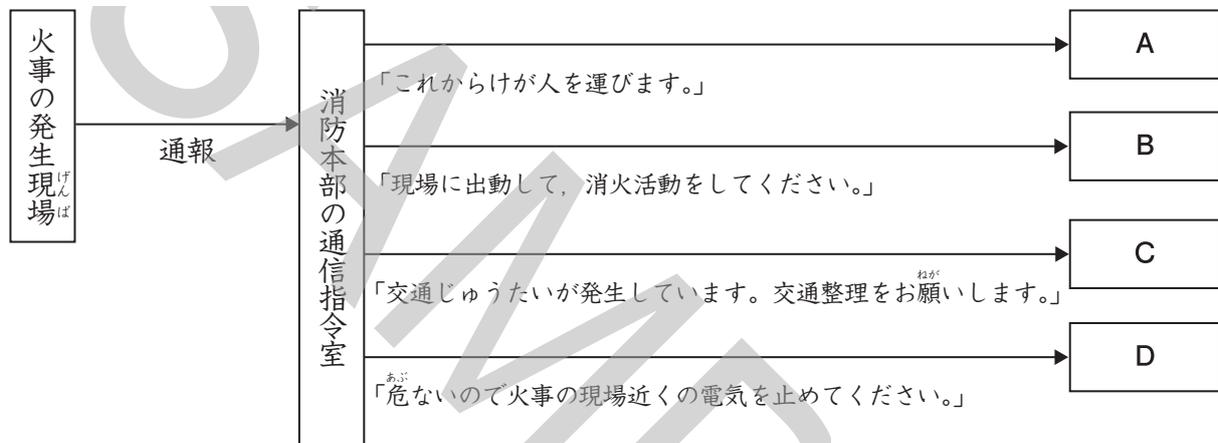
③ わたしたちの暮らしについて、次の問いに答えなさい。

□(1) 110番と119番の電話番号はどのようなときに使いますか。次から2つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 家のガスコンロが使えなくなり、ガス管を検査してもらいたいとき。
 イ 留守の間にごろぼうが入り、ものがぬすまれたとき。
 ウ 家が停電になり、電気の配線を調べてもらいたいとき。
 エ 家の水道が使えなくなり、水道管を検査してもらいたいとき。
 オ 火事がおこったため、消防しよの人たちに消火活動に来てもらいたいとき。
 カ 交通事故がおこり、けいさつ官をよびたいとき。
 キ 急病人が出て、急いで病院へ運びたいとき。

110番 [] [] 119番 [] []

□(2) 次の図は、火事がおこったときの連絡について表したものです。図中のA～Dにあてはまることばとして最もふさわしいものをあとから1つずつ選び、記号で答えなさい。



- ア 消防しよや消防団 イ 交通管制センター ウ けいさつしよ エ 水道局
 オ 電力会社 カ ガス会社 キ 病院

A [] B [] C [] D []

□(3) 次の文中の()にあてはまる施設の名を答えなさい。

発電所でつくられた電気は、そのままでは使えないため、家庭や工場などにとどけられる前に、()に送られます。

[]

□(4) 水力発電の特ちょうについて説明した文として最もふさわしいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地球温暖化の原因の一つと考えられている二酸化炭素を多くはい出します。
 イ 燃料やはいき物のあつかいがむずかしく、安全のための備えが必要です。
 ウ 発電のために必要なダムを建設するとき、環境に影響をあたえることがあります。
 エ 地下の熱からうまれる水蒸気を利用して発電する発電方法です。

□(5) ガスを安全に利用するための工夫について説明した文としてふさわしくないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ガスメーターがガスもれを感知すると、ガスは止まるしくみになっています。
 イ 地下のガス管は、地震などでもこわれないようにつくられています。
 ウ ガスもれがわかるように、ガスにはにおいがつけられています。
 エ 家庭にとどけられるガスは、液体にされてからとどけられています。